



学校だより

羽村市立羽村東小学校

《令和8年度5月号》

「言葉の力」を大切にします

校長 柳澤 謙

先日の保護者会には多くの皆様にご出席いただき、ありがとうございました。また、保護者の皆様のご協力のおかげで、令和8年度の教育活動も無事に始まりました。子供たちもそれぞれの新しい学級で熱心に授業に取り組んでいるところです。

さて、今年度も東小は「ふわふわ言葉」を大切に教育活動に取り組んで参ります。東小では、「ふわふわ言葉」は「ありがとう」や「大丈夫?」、「ドンマイ」などの相手が喜ぶ言葉と定義し、「おはようございます」などの挨拶も含んでいます。4月の子供たちの様子からは、自然と「ふわふわ言葉」を使い、友達を思いやる姿が多く見られました。しかし一方で、そんなつもりはなかったのに言葉によるすれ違いでトラブルになることもありました。気持ちでは相手を思っているのに言葉にするとその真意が伝わらないことは、誰にでもあることだと思います。

羽村市教育委員会では、その方針である「はむらの学校教育」の中で、全ての子供のよさと可能性を引き出し伸ばすために、「言葉の力」を中核とした学校づくりを呼びかけています。そのことを受けて、本校の校内研究においても、「言葉の力」を育む手立てや授業の在り方を年間4回の研究授業を通して明らかにし、子供たちのために研究を深めて参ります。

言うまでもなく、授業は言葉を介して行います。どのような言葉を使ったら子供にとって分かりやすくなるのか、また、子供たちがどんな言葉を身に付けるとより学びが深まるのか等、研究していくことは山のようにあります。今年度も、子供と同じように教員も常に学び続けます。

そして、コミュニケーションも言葉を介して行うことがほとんどです。お互いにどんな言葉を使うと円滑な人間関係を築くことができるのか、言いにくいことを相手に伝えるときにはどんな言葉がいいのか等、私自身も日頃から考えることが多くあります。そんなときは、相手が喜ぶ「ふわふわ言葉」が必要不可欠ではないでしょうか。東小の子供たちは皆、相手を思いやる優しい心をもっています。その純粋な心をそのまま言葉にして相手に伝えるためには「ふわふわ言葉」が大切だと考えます。それは、普段から使うことで身に付いていきますので、今年度もふれあい月間等で重点的に取り組んで参ります。

ご家庭でもお子様が「ふわふわ言葉」を使っていたら、「その言葉いいね。」「それを聞いて嬉しい気持ちになったよ。」など、声をかけていただけるとありがたいです。ご協力をよろしくお願いいたします。

<お知らせ>

学校公開 令和8年 5月20日(水)3時間目から4時間目まで(10時25分~12時)

5月21日(木)3時間目から4時間目まで(10時35分~12時10分)

5月22日(金)3時間目から4時間目まで(10時35分~12時10分)

※「江の島・相模原移動教室保護者説明会(5年生保護者対象・多目的室)」が20日(水)の4時間目にあります。

※「日光移動教室保護者説明会(6年生保護者対象・多目的室)」が21日(木)の4時間目にあります。

※ 授業内容等の詳細は、後日配信いたします。内容をご確認の上、ぜひご来校ください。

